

なめがたをあるく



古式ゆかしい日本の風情 化蘇沼稻荷神社例大祭「巫女舞」



化蘇沼稻荷神社



稽古風景



清々しい3名のみなさん



化蘇沼稻荷神社本殿

化蘇沼稻荷神社は、文
明10年（1478）、当時
の領主大掾（だいじょう）
氏が創建し、その後火災
で焼失しましたが、天文
3年（1534）、武田氏
により再建されたと伝え
られています。また、再
建のとき奉納相撲をもつ
て五穀豊穡を祈願したと
もいわれ、別に「関取稻荷」
とも呼ばれています。

現在も毎年8月25日に
例大祭が行われ、豊作を
祈願する奉納相撲のほか、
武田地区当番区の小学生
による巫女舞も奉納され、
雅楽の調べにのせて古式
ゆかしい舞が披露されま
す。

今年は、三和区が当番
区として行われ、三和小
学校6年生の小室京香さ
ん、大野葵子さん、額賀
沙彩さんの3人が「浦安
の舞」と呼ばれる平和を
祈る舞を披露しました。
3人は、例大祭の約1か
月前から化蘇沼稻荷神社
の社務所において、宮内

和子さんの指導のもと、
稽古を重ねてきました。
稽古は、厳かな雰囲気だ
で行われ、宮内さんが自ら
手を添え、きめの細かい
指導を行い、3人とも真
剣な面持ちで取り組んで
いました。

巫女になることは、以
前から聞かされていたそ
うで、巫女舞について額
賀さんは、「手を曲げたり
まっすぐにしたりするの
が難しい」と話してくれ
ました。

巫女舞は、文献によ
ると江戸時代から始まっ
たとされており、太
平洋戦争中に一時中断さ
れたものの、昭和21年
（1946）に復活。以後、
毎年披露されています。

3人の巫女の艶やかに
舞う姿は、多くの見学者
を魅了しました。今後と
も武田地区に残る貴重
な伝統文化を、絶えるこ
となく後世に語り伝えて
いっていただきたいもの
です。

ROOKIE

市内で頑張るフレッシュな
人を紹介していきます！

五十野さん
（農業生産法人
有くらぶコア）
根菜類、葉物、香
菜など年間をとおし
て10種類以上のもの
を栽培しています。
生産だけにとどまらず、加工、販
売など、多面的な農業経営をして
いきたいと考えています。5月には
「ふきのとう」
という店舗も
開店し、より
がんばってい
きたいです。



編集後記

麻生祇園馬出し祭を取材させて
いただきました。馬と神輿の勇壮な
戦いを間近で目にするのができ、
大いに堪能した1日でした。（保）
みなさんは日頃、運動しています
か？スポーツクラブに入会したり、
テニス教室に申し込んだりとやる気
（？）はある私ですが、継続するの
はなかなか難しいですね…。今回
の特集はウォーキング。楽しみなが
ら行うのが続けていける秘訣なのだ
と思いました。（友）